

平成17年3月22日
海上保安庁

4月1日から航海用電子海図の提供方法が変わります ～ 刊行海域を拡大し、1セル577円で提供します～

平成17年4月1日(金)から航海用電子海図の提供方法が変更となり「セル単位での提供」、「ライセンス制」及び「コピープロテクト」を導入します。

これまでの航海用電子海図はCD-ROM15枚に434セルが入っていましたが、4月1日からは新たに61セルを追加し合計495セルとなり、航海用電子海図の刊行海域が拡充されます。

また、1セルの年間使用価格は577円(消費税込み)となります。

4月1日から、航海用電子海図の提供方法を変更し、「セル単位での提供」、「ライセンス制」及び「コピープロテクト」を導入いたします。(別紙参照)

これに併せて、航海用電子海図の刊行海域を拡充致します。

現在の航海用電子海図はCD-ROM15枚に紙海図277図分が434セルとして格納されていますが、4月1日からは、新たに紙海図37図分の61セルを追加して、合計495セルとします。

新しく刊行する海域は、次のとおりです。

国内の海域は秋田船川港秋田、七尾港、金沢港、巖原港、志布志湾など紙海図29図分です。

日本周辺以外の海域は1/350万及び1/1,000万の縮尺で北はオホーツク海、東はクリスマス島、南はパプアニューギニア、西は南シナ海までの紙海図8図分です。

このような電子海図刊行海域の拡充により、北米航路であれば米国のENCを併用することにより日本から米国西海岸にかけての連続したENC使用が可能となります。

また、豪州航路、インドネシア航路及びマラッカ海峡への航行にも有効に活用できます。(付図参照)

また、1セル当たりの年間使用価格は、縮尺に関係なく577円(消費税込み)となります。

4月1日以降の電子海図ご利用については、(財)日本水路協会にお問い合わせ下さい。

電話番号：03-3543-0752

アドレス：<http://www.jha.jp/>

航海用電子海図

「セル単位での提供」、「ライセンス制」及び「コピープロテクト」の説明

セル単位での提供

これまでは、「東京湾」などの海域毎に情報を納めた1枚のCD-ROMで航海用電子海図15枚を提供していましたが、今後は、海域毎より小さな単位として経緯度によって区分された「セル」単位の航海用電子海図を入手することができます。

ライセンス制

これまでは、利用者が航海用電子海図を入手した直後に同じ海域で新たに航海用電子海図が発売されれば、再度購入する必要がありました。

今後はライセンス契約期間内であれば無料でアップグレードすることができます。

また、航海用電子海図の更新情報をインターネットから無料で入手できることとなります。

コピープロテクト

一昨年、国際水路機関で国際的なコピープロテクトの仕様が作成され、この仕様に基づく保護処理が施されます。

なお、平成19年4月以降、現在販売されている航海用電子海図の更新情報は、提供を行いません。

このため、現在販売されている航海用電子海図では、船舶設備規定等の法的備置義務を満たさなくなります。

「セル」とは、航海用電子海図の最小単位で、ある大きさの緯度、経度の区域毎に情報がファイルされたものです。

「ENC」とは航海用電子海図(Electronic Navigational Chart)の略語です。

